

**1 新年度に向けて**

1年生・2年生は、もうすぐ新2年生・新3年生ですね。

3月は休みが多いため、この期間に生活リズムを崩してしまうと、後で取り戻すのが大変です。いつも通り早寝早起きを心がけて、各教科の課題にもしっかり取り組みましょう。

**2 2024年度第1回検定から、英検リニューアル**

1年生・2年生で、本校から前回の英検（準2級・2級・準1級）を受けた人の数は約130名で、そのうち70名が合格しています。

英語検定のリニューアルについては皆さんご存じでしょうか。

リニューアルの目的は、以下の通りです。

- ・現行学習指導要領の「外国語」に合わせて、複数の技能（領域）を統合した言語活動の充実を図る
- ・知識や技能の習得だけでなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた言語の運用を考える中で思考力、判断力、表現力等を育成する

問題のリニューアルがあると、いやだなあ、大変だなあと思うかもしれませんが、ですが、このリニューアルの目的を読むと、「英検を目標にして学習していくことで、より英語4技能をバランスよく身につけることができるようになる」ということがいえます。それは皆さんにとっては大きなメリットです。

近々、英検に挑戦してみようと考えている人もいますので、要点をまとめてお知らせします。よくチェックして、対策を始めましょう。新形式に対応した問題集も、販売が始まりました。春休みに時間が取れる人は、今がまとめて学習できるチャンスです。

●2024年度 英検問題形式リニューアルの概要

	Reading	Writing	試験時間	Listening	Speaking
準1級	41問→31問 ・大問1:短文の語句空所補充→7問削除(単語問題) ・大問3:長文の内容一致選択→3問削除(設問No. 32-34)	英作文問題の出題を1題から2題に増加 既存の「意見論述」＋「要約」問題を出題	変更なし (90分)	変更なし	受験者自身の意見を問う質問(No. 4)に話題導入文を追加
2級	38問→31問 ・大問1:短文の語句空所補充→3問削除(文法問題等) ・大問3B:長文の内容一致選択→4問削除(設問No. 30-33)	英作文問題の出題を1題から2題に増加 既存の「意見論述」＋「要約」問題を出題	変更なし (85分)	変更なし	変更なし
準2級	37問→29問 ・大問1:短文の語句空所補充→5問削除(熟語・文法問題など) ・大問3B:長文の語句空所補充→3問削除(設問No. 28-30)	英作文問題の出題を1題から2題に増加 既存の「意見論述」＋「Eメール」問題を出題	時間延長 (75→80分)	変更なし	変更なし

公益財団法人 日本英語検定協会「2024年度 実用英語技能検定(英検)問題形式リニューアル」
<https://www.eiken.or.jp/eiken/2024renewal/> より抜粋、加筆

◎英検の受験を考えている1、2年生へ

- ・英検を大学入試に生かそうと思ったら、3年次の1回目の英検までに合格することが必須です。それ以降になると、出願に間に合わないことが多いです。迷っている人は次回ぜひ挑戦してみよう！
- ・何度もトライできるのが検定試験の良いところです。（大学入試はそう何度も挑戦できないので）
- ・大学入試でなくても、就職に役立つかも！積極的に資格試験に取り組んでいくことを考えてください。

2 大学紹介コーナー ～福島大学経済経営学類～

●「経済学コース」と「経営学コース」について

福島大学経済経営学類は、「経済学コース」「経営学コース」があります。1年次では基礎科目を学び、2年次後半からどちらかのコースの専門科目を選んで学びます。時間をかけて専攻を選びたい人にはメリットですね。

また、両コースを横断的に学ぶグローバル・エキスパート・プログラムでは、海外に行って学んだり、実務経験を積むこともできます。就職活動のときにアピールできる力がつきます。

経済学コース	経営学コース
・経済を担うさまざまな主体の相互関係や作用を対象とする（対象の範囲が広い） ・現代の経済社会を理解し、経済の理論と応用に関わる専門的知識・能力を修得させる	・個々の経済活動の主体を対象とする（対象の範囲が狭い） ・現代の経済社会を理解し、地域経済と経営、会計と金融の専門的知識・能力を修得させる
グローバル・エキスパート・プログラム	
両コースを横断的に学ぶことができる。日本語の他に外国語を学び、それをもとにして留学、海外調査、海外インターンシップなどに参加し、実務経験と知識をバランスよく積み重ねることができる。	

国立大学法人福島大学「学類カリキュラムマップ 経済経営学類」

<https://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/guide/2023/econ/page/011019.html> より抜粋

●卒業後の進路

経済経営学類の卒業生は、公務員（地方・国家）、県内外の企業・団体への就職がほとんどです。地元の銀行や地元の大手企業など、卒業生が活躍しています。福島大学や県内外の大学院へ進学することもできます。

●選抜の方法について

以下の通り、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜（前期日程・後期日程）があります。

選抜方法	内容	受験の時期
総合型選抜	1次審査（課題図書に基づくレポート・志願理由書） 2次審査（集団討論・面接） 3次審査（共通テスト）	出願：9月 選抜：9～1月 発表：2月
学校推薦型 選抜A	・調査書の評定平均値が4.3以上、英検2級相当の外国語資格試験取得が条件となります。 ★倍率低め、英検2級があればおすすめ★ ・小論文と面接の総合点で判定されます。	出願：11月 選抜：11月 発表：12月
一般選抜 前期日程	1次試験：共通テスト、 2次試験：英語・小論文	出願：1～2月 選抜：2月、発表：3月
一般選抜 後期日程	1次試験：共通テスト、 2次試験：英語・小論文	出願：1～2月 選抜：3月、発表：3月

※学校推薦型選抜Bは実業高校に通う高校生向けのため、ここでは省略。

国立大学法人福島大学「令和6年度 入学者選抜要項」より抜粋

<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/recruitment/Files/2023/07/97700f6335ab21eb64ad4ac35cf8688e.pdf>